

令和2年度第1回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日 時 令和2年4月20日(月)～4月27日(月) 書面審議
出席者 赤塚、出野、岩崎、大石、栗村、榊、鳥居、野田、晝馬、細井の各委員
石井、丹沢、木村、東郷、池田、大場、手島、寺村、笹原の各委員

I 前回議事録の承認について

令和元年度第9回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 学長選考会議委員の選出について

議長から、任期満了に伴う学長選考会議委員の選出について、資料1により、任務、組織、前回選考の経緯等の説明があった。

また、大学関係(大学運営等のご経験など大学コミュニティに属する者)、県等の教育界、法曹界、地域の産業界など様々な立場からのご意見を伺うことの重要性や従前からの会議の在り方としての継続性を踏まえ、引き続き当該4分野から選出したい旨提案があり、書面審議の結果、榊委員、鳥居委員、栗村委員及び細井委員の4名を選出した。

(学外委員から出された意見)

[⊕: 学外委員の意見等 △: 本学側の意見・説明等]

⊕: 学長選考会議の審議の継続性の観点から、また、今年度は学長候補者を選考する大変重要な任務があり、委員の継続を考慮すべきであること、また、一法人2大学の体制を推進することからも、次期学長選考会議委員は大学運営、教育界、法曹界、地域の産業界など、各界のバランスを考慮すべきであると考えておりました。この度の委員選定は上記の視点からも大変妥当である。

2 第3期中期目標期間の教育研究評価について

議長から、第3期中期目標期間4年目終了時の教育研究の状況についての評価に係る「研究業績説明書」について、資料2及び別添資料により提案があり、書面審議の結果、原案どおり承認した。

(学外委員から出された意見)

[⊕: 学外委員の意見等 △: 本学側の意見・説明等]

⊕: SS、S等の評価レベルをご教示いただきたい。

△: 研究業績説明書内「1. 各学部・研究科等の目的に沿った研究業績の判断基準」に沿って選定した業績の中から、各学部・研究科等が卓越した水準にあると判断したものをSS、優秀であると判断したものをSとしている。

⊕: 教育面では、アクティブラーニングやオンライン教育などを適切に進め

ており、研究でも、地域の強みを活かした光技術の研究などが推進されており、評価される。

④： 学部、研究科でどのような研究が行われているか分かった。高い評価を得られることを期待している。

④： 研究分野が多岐にわたるため、研究業績説明書の項目より優先順位の高い研究テーマベスト 10 などのインデックスをご教示いただきたい。

△： 各評価単位の研究業績説明書から、主な研究テーマの一覧を作成し、次回経営協議会において報告したい。

3 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料 3-1 により、合意書締結後の会議の開催状況、資料 3-2 により、3 月 30 日に開催した連携協議会議事要旨（案）（両大学合意済み）、資料 3-3 により、第 2 回静岡大学将来構想協議会の配付予定資料の説明があった。

（学外委員から出された意見）

〔④：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

④： 法人統合・大学再編が精力的に進められていると認識。今後、その効果や課題について考察して参りたい。

④： 浜松医科大学との話が先行するのは仕方ありませんが、静岡キャンパスの将来像に関しても、大学側が主導する形でそのデザインを早く明らかにすべき。両方の話を並行して進めなければ全体が上手く行くことにはならない。

△： 静岡地区大学の将来像については、静岡市と共催している静岡大学将来構想協議会にて広く意見を求めているところであり、その意見を受け止めながら、着実に検討を進めたい。

④： 大学再編は、今後数十年に亘る大学の将来を決めるものであるため、今後も十分な検討の継続をお願いしたい。

④： 新法人設立・大学再編に向けて、着実な会議が開かれていることを心強く思う。

④： 県内の高校や高校生に対する大学再編の説明を丁寧に行っていただきたい。

△： 今後大学への進学を控える高校生への説明が重要であることは十分に認識しており、必要な時期に、担当理事が直接高等学校に説明に回る等丁寧に対応していく所存である。

III 報告事項

1 令和元年度の静岡大学の主な取組について

議長から、令和元年度の静岡大学の主な取組について、資料 4 により報告があった。

2 経営協議会学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例等について

議長から、経営協議会学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例等について、資料5により報告があった。

(学外委員から出された意見)

- Ⓔ： 地域貢献や国際交流に加え、運営体制・情報発信の取組みについても着実な努力がなされていると判断される。

3 理事、学長補佐及び学長特別補佐について

議長から、理事、学長補佐及び学長特別補佐について、資料6により報告があった。

4 令和2年度入試状況について

議長から、令和2年度静岡大学入試状況について、資料7により報告があった。

5 令和元年度卒業・修了者の進路状況について

議長から、令和元年度卒業・修了者の進路状況（3月31日現在）について、資料8により報告があった。

6 ファクトブックの作成について

議長から、ファクトブックの作成について、資料9により報告があった。

7 令和元年度監事業務監査実施結果について

議長から、令和元年度監事業務監査実施結果について、資料10により報告があった。

8 令和2年度国際交流基金事業の基本方針と事業資金について

議長から、令和2年度国際交流基金事業の基本方針と事業資金について、資料11により報告があった。

9 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について

議長から、新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について、資料12により報告があった。

(学外委員から出された主な意見)

[Ⓔ：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

- Ⓔ： 新型コロナウイルスの関係で就職試験の状況が大きく変わることが予想されるため、多くの学生が希望する職に就けるよう対応願いたい。

△： 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、企業側でも、合同企業説明会の中止や企業における個別の説明会や面接等のオンラインへの転換等様々な動きが出てきている。

本学においても、就職ガイダンスのオンライン配信やオンライン就職相談など、工夫をしながら就職支援を行っているところであり、今後の動向

を注視しつつ、引き続き学生への支援に尽力したい。

IV その他

1 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター（藤枝フィールド）の一部資産譲渡について

議長から、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター（藤枝フィールド）の一部資産譲渡について、資料13により説明があった。

以上